

# 平成 26 年度 財政局予算要求方針

## 【目次】

- 1 平成 26 年度財政局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

# 1 平成26年度財政局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成26年度財政局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成26年度要求総額 82,458,168千円  
 (平成25年度予算額 82,376,767千円)  
 前年度比 +0.1%

#### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 A	平成25年度 予算額 B	増減 A-B
<継続> 「ふるさと寄附金」の促進	2,000	2,000	0
コンビニ収納による市税 の確保	33,584	30,181	3,403
公債償還特別会計繰出金	67,146,066	68,004,969	▲858,903
(うち元金)	(27,114,394)	(26,761,050)	(353,344)
(うち利子)	(14,849,696)	(14,595,233)	(254,463)
(うち基金積立金)	(24,419,498)	(26,045,358)	(▲1,625,860)

### 【公債償還特別会計】

平成26年度要求総額 199,907,000千円  
 (平成25年度予算額 172,043,000千円)  
 前年度比 16.2%

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 A	平成25年度 予算額 B	増減 A-B
元金	143,777,471	114,048,552	29,728,919
利子	21,020,472	21,382,817	▲362,345
基金積立金	28,114,470	31,709,136	▲3,594,666

## (2) 平成26年度財政局経営方針

本市は、「北九州市基本構想・基本計画」(「元気発進!北九州」プラン)に基づき、「人と文化を育み、世界につながる環境と技術のまち」の実現に向け、未来を見据えた精力的な取り組みを進めている。

そうした中、本市の財政状況を見通すと、今後の景気動向に左右されるものの、市税収入の大幅な伸びも見込めない一方、高齢化社会等の福祉・医療関係経費などの増加など、今後も厳しい状況が続くと見込まれる。

そこで、平成26年度においては、北九州市新成長戦略等を踏まえた地域経済対策の推進等に重点的に取り組む一方で、今後策定される新行革プランを見据え、事業の総点検等を踏まえた、事務事業の見直しや様々な財源の確保などの収支改善に取り組み、持続可能で安定的な財政の実現に努めていく。

### ① 基本構想、基本計画の着実な実現

#### ア 「北九州市基本構想」及び「北九州市基本計画」の着実な実現

「人と文化を育み、世界につながる環境と技術のまち」を目指して、「北九州市基本計画」に掲げる7つの分野別施策を着実に実現する。

特に、「北九州市新成長戦略」等を踏まえた地域経済対策の推進等に重点的に取り組む。

### ② 持続可能で安定的な財政運営

#### ア 事務事業の「選択と集中」

限られた財源の中で、健全な財政運営を維持するために、事業の総点検や行政評価システム等により、事務事業の必要性や費用対効果を検証し、「見直すものは見直し、強めるものは強めていく」という「選択と集中」を図る。

#### イ 市税収入等の確保

高額事案等の滞納整理を重点的に実施するとともに、進行管理を徹底して、更なる収入率の向上を図る。

また、市税のコンビニエンスストアでの収納を通じて納付機会を拡充し、市民の利便性の向上を図る。

#### ウ 未利用市有地の処分及び有効活用

自主財源の確保のため、平成25年度に引き続き、公共利用の予定のない未利用土地の積極的な商品化を進め、売出件数の増加に努めるなど、売却促進に取り組む。

## エ わかりやすい財政（予算）への取組み

市民に、本市の財政状況や予算について理解を深めていただくため、「わかりやすい北九州市の財政」の作成や、市ホームページへの予算書等の掲載を行う。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) 事務事業の「選択と集中」

Ⅲ－１・継続

#### ① 予算編成における事務事業の見直し (事業概要)

予算編成にあたっては、事業の総点検等を踏まえた収支改善に取り組む。また、各局が自主的に実施してきた事務事業について、PDCA サイクルに基づく「行政評価」結果を踏まえた予算編成を行い、事業の「選択と集中」を図る。

### (2) 市税収入等の確保

Ⅲ－１・継続

#### ① 市税の徴収体制の強化 (事業概要)

市民負担の公平や行政の信頼確保の観点から、効率的な滞納整理を推進し、収入率の向上を図る。

特に、事案ごとの収納可能性を見極め、高額事案等の滞納整理を重点的に実施し、市税収入を確保する。

Ⅲ－１・継続

#### ② コンビニ収納による市税の確保 33,584 千円 (事業概要)

金融機関等の営業時間内に納付に赴くことができない市民への利便性に配慮するとともに、市税の納付を促進するため、コンビニエンスストアを活用して市税の確保を図る。

Ⅲ－１・継続

#### ③ 「ふるさと寄附金」の促進 2,000 千円 (事業概要)

「ふるさと北九州市応援寄附金」についてPRし、寄附件数及び寄附金額の増加を図る。平成 26 年度は、平成 25 年度にモデル実施して好評だった「北九州市制 50 周年ふるさと寄附金促進事業」(一定額以上の寄附者に対し、地元特産品等を贈呈)を平年度化し、引き続き寄附の獲得につなげる。

### (3) 未利用市有地の処分及び有効活用

Ⅲ－３・継続

#### ① ふれあい花壇・菜園事業 21,000 千円 (事業概要)

未利用市有地を無償で地域の自治組織に貸し出し、花壇・菜園やどんぐり苗の育成に活用してもらうことで、街なかの緑を増やすとともに、高齢者の生きがい・健康づくりや地域の多世代交流を図る。

#### (4) わかりやすい財政（予算）への取り組み

Ⅲ－３・継続

- ① 「わかりやすい北九州市の財政」作成事業 1,266 千円  
(事業概要)

市民に本市の財政状況や予算について分かりやすく説明し、本市の財政運営について理解を深めていただくため、「わかりやすい北九州市の財政」を作成する。